



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2025.7.10 Vol.185

三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



未来創造館／薬学部のみなさん

揺るぎなく前進！

卒業生の就職状況及び充実した就職支援	1
卒業生のコメント	2
新入生へのメッセージ	3
学内トピックス	5
研究活動	9
学内人事	11
財務状況	13
訃報	15
入学試験の概要	15



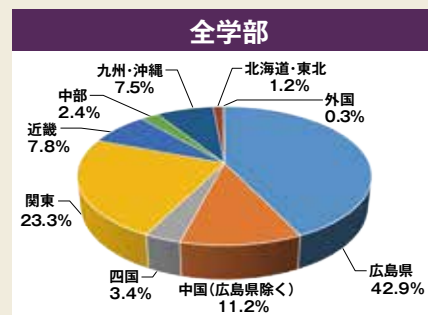
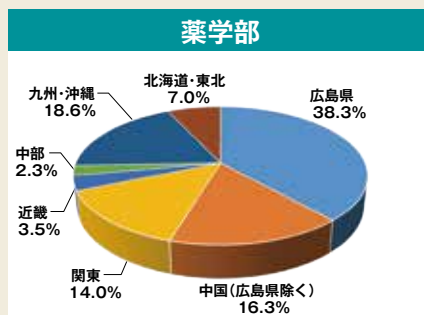
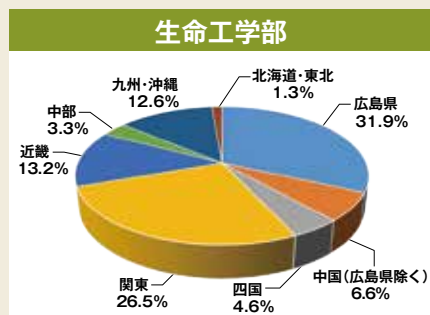
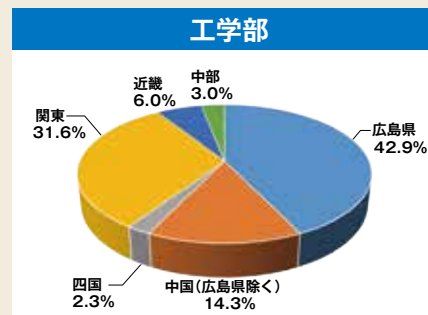
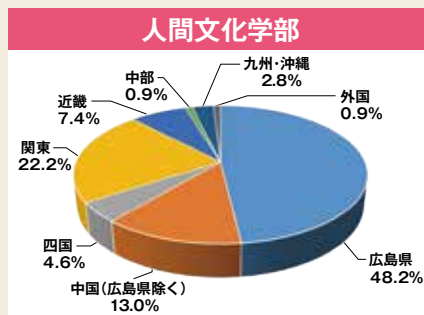
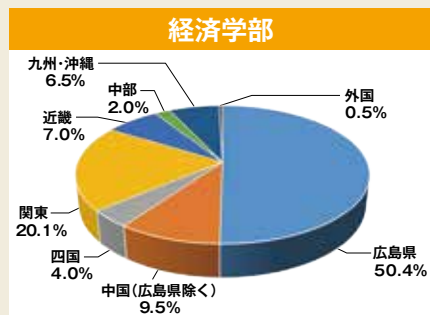
令和6年度の就職状況

令和6年度に福山大学が受付けた求人は2,811事業所からでした。就職情報サイトのWEB募集等を加えれば、例年通り安定した求人数を維持しています。また、令和6年度における卒業生の就職率は99.4%で、広島労働局が公表した県内大学生就職率の96.6%を大きく上回っています。また、文部科学省が公表した全国の大学の就職率は98.0%で、福山大学の就職率の高さが窺えます。

福山大学において就職を希望する学生の就職率はほぼ100%で、この状況は過去10年間以上続いています。

令和6年度卒業生の地域別進路状況は、広島県を中心とした中国地方が最も多く、続いて関東、近畿、九州、四国、中部、北海道・東北の順になっています。各学部・全学部の状況は、下記のとおりです。

令和6年度 地域別進路状況



福山大学独自の就職支援の取り組み

本学では、学生一人ひとりが少しでも希望する職業に就けるよう、ゼミ担当教員を中心に各学部・学科から選出された就職委員や就職課職員が一体となった独自の下記プログラムによる就職支援を行っています(令和7年度予定)。

国家検定「キャリアコンサルティング技能士1級」保有の職員が行う就職相談や面接練習は、学生の希望する日時に随時対応しています。

また、個別指導としては、学生が希望する職種・業種・企業名について進路希望票を提出させて、ゼミ担当教員や就職課職員が確認したうえで適切な指導・支援を行っています。教職員が一丸となって、一人の学生に対し多方面から一貫性のある就職支援を

可能にしています。

さらに、学生は学内ネットワークのWEB就職システムを利用し、大学で受付けた求人票を学内だけでなく自宅からでもパソコンやスマホを使って閲覧・検索が可能です。

また、就職活動においても説明会や面接をWEBまたは対面にするなど、目的や状況に合わせて使い分ける企業も増えてきました。そのため、本学においても、WEBでの就職活動に対応した様々なセミナーを実施し、さらに、これまで通りの対面や電話・メールでの相談だけでなく、WEBによる相談対応も実施しております。今後も、学生一人ひとりの気持ちに寄り添いながら就職支援を続けていきます。

令和7年度予定

1.就職ガイダンス

- 第1回就職ガイダンス：5月
これからの就活と自己分析
- 第2回就職ガイダンス：6月
履歴書の書き方と自己PR作成
- 第3回就職ガイダンス：10月
就活の基本と社会人のマナー
- 第4回就職ガイダンス：11月
働くこと、労働法について
- 第5回就職ガイダンス：1月
求人票の見方・企業選びの基準
- 第6回就職ガイダンス：2月
業界説明会の回り方

2.就職試験等対策講座及び就活セミナー

- 業界研究・業種研究
- WEB就職模擬テスト (WEB) (専門講師)
- SPI講座 (WEB、対面)
- 小論文・作文講座 (WEB、対面)
- エントリーシートの書き方
- 就職体験発表会
- 身だしなみ・メイクアップ講座 (対面)
- 卒業生による業界説明会 (クロススピーチ)
- Bingo Job Lab (経営者との懇談会)
- 企業見学会 バスツアー

3.学内合同企業説明会および業界説明会

- 5月 6年生薬学対象 合同企業説明会
- 5月 4年生対象 合同企業説明会
- 5月 4年生対象 合同企業説明会
- 9月 広島県中小企業家同友会との合同企業説明会
- 9月 3年生建築学科対象 業界説明会
- 11月 3年生機電系学部対象 業界説明会

2月 3年生・留学生対象(薬学部除く) 業界説明会

4.企業個別説明会

- 本学学生(4年生対象)
- 大学内にて個別の会社説明会を開催

5.保証人との就職懇談会

- 4月 薬学部6年対象

6.就職活動に関する個別対応

- 履歴書・エントリーシートの添削 (WEB・対面)
- 面接(個人・集団)対策 (WEB・対面)
- グループディスカッション対策 (対面)

7.個別の就職相談

- 国家検定「キャリアコンサルティング技能士1級」保有職員による相談
- ハローワーク福山 就職支援ナビゲーターによる支援

卒業生のコメント

高 潤 人 経済学部経済学科（令和7年3月卒業） 就職先：株式会社力チタス



私が皆さんに伝えたいことは、どんなことでもやってみる大切さです。最初からあきらめてしまっても何も変わりません。挑戦することで、新たな発見や出会いがあり、やり遂げることで自信につながると思います。

コロナ禍に負けたくないとの思いで、私は1年次から自主参加型ゼミ「キャリアデザインゼミ」に所属し、市内外の活動に積極的に取り組み、経営者や社会人、他大学の学生や高校生など様々な立場の人と関わることで、視野を広げることができました。

仕事は初めてだらけですが、20代が中心の5人体制で質問しやすい職場です。お客様や売主さん、工務店やリフォーム業者など様々な方と日々お話をする際、キャリアデザインゼミで培ったコミュニケーション能力が活かされています。

4年間はあっという間です。講義やアルバイトだけでなく、もっといろいろなことに挑戦しておけばよかったと後悔しないよう、楽しいキャンパスライフを過ごしてください！

鈴木 あまね 人間文化学部人間文化学科（令和7年3月卒業） 就職先：ホーコス株式会社



私が在学中の経験を通じて皆さんにお伝えしたいのは、「未来のあなたを助けてくれるのは今のあなた」ということです。就職活動を行っている中、今までに得た知識や経験は一体どこに活かせるのかと疑問に思うことが多々あります。大学での学びは私たちの大きな糧にはなりますが、就職へ直接役に立つものばかりではありません。その時は何のために学んでいるのか分からないことがあるでしょう。こんなことをして果たして意味があるのだろうかと思ってしまうこともあります。その答えは今すぐに

は分かりません。しかし、役に立つ日は突然来るもので、助けられた時にやっとあの時頑張ることを諦めなくて良かったと思うのです。どうか意味なんてないと思わないでください。これまでに取り組んできたことで無駄なことは何ひとつありません。いつか、どこかで、あの時努力したあなたが、あなたを助けてくれます。

世良 守紗哉 工学部電気電子工学科（令和7年3月卒業） 就職先：株式会社ジェーイーエル



この春、クリーンルーム内で働く、半導体ウェーハ搬送用ロボットを開発製造する株式会社JELに入社しました。実は、学生時代からハードウェアに触れるのが若干苦手で、プログラミングに心地よさを感じていたため、ロボットの制御ソフトの開発を志していましたが、ハードウェア設計部門の配属となり、少しドキドキしています。大学で学んだ専門知識をどれくらい仕事に活かすことができるかはわかりません。しかし、今、少なくとも、「工学的に考える姿勢」は確実に役立っています。特に、

実験や実習に苦手意識を抱えながらも取り組んできた経験は、現場での不安を受け止め、前に進む勇気を与えてくれています。大学生活で何を学ぶかも重要ですが、それ以上に「どう学ぶか」を大切にすべきだと思います。そして、学生時代にしかできない経験も貴重です。今のうちに、存分に遊び、学び、人との出会いを楽しんでください。すべてが未来の糧になるはずです。

市村 歌音 生命工学部生物科学科（令和7年3月卒業） 就職先：池田糖化工業株式会社



就職活動は、自分自身を見つめ直す大切な時間です。私は「食べることが好き」という気持ちから食品業界を志望しましたが、単に好きを超えて、人を笑顔にできる食の力に魅力を感じました。食は生きていくうえで欠かせないもの。だからこそ、美味しく楽しい食事が広がれば、もっと人々の笑顔が増えるはず。現在はまだ研修期間中ですが、そんな「食べる喜び」を届ける一員として関わること、今大きなやりがいを感じています。就職活動は不安が多いと思いますが、気負わず自信を持って、

精一杯自分を売り込んでください。面接官の方は意外に優しく、あなたの人柄を見ようとしてくれることに気づくかもしれません。笑顔を忘れず、企業の方と雑談するくらいの気持ちで挑んでください！また、会社ごとに求める人物像は違うので、ぜひ多くの会社に足を運び、自分の目で確かめてください。焦らず、自分に合った道を見つけられるよう、応援しています！

斎藤 優希 薬学部薬学科（令和6年3月卒業） 就職先：日本生命病院



私は、「自分の潜在能力をできるだけ引き出した」という夢を達成するため、総合病院での経験が必要だと考え、病院に就職しました。

薬学部の皆さんに私が伝えたいのは一つだけです。それは「夢を持て」ということです。どんなに小さいことでもつまらないことでもよいです。とりあえず薬剤師になる事が夢という方は、まず薬剤師になってからの夢を、また具体的な夢がある方はその夢を叶える上で自分に何が 필요한かを考えていただきたいです。

極論にはなりますが、自分の夢を叶える上で薬剤師の資格が必要であれば、薬剤師にならなくても良いと思います。薬剤師になることや就職先をどこにするか、などはあくまでも自分の夢を叶えるための一手段として考えてみてください。

私が伝えたいことは、繰り返しになりますが、「夢を持て」ということです。あとは大学生活を存分に楽しんで、沢山の経験や失敗をして面白みのある人間になってください！

新入生へのメッセージ

経済学部 あなたの夢を経済学部でかなえて下さい



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

現在ではメディアに景気、貿易、雇用など経済関連の記事が載らない日はありません。経済は現代社会で重要な位置を占めていて、影響力があります。世界はグローバル化しています。ヒト、モノ、マネー、情報などが自由に国境を超えて移動します。本学の卒業生も就職すれば海外に赴

任、出張することが当然となりつつあります。

経済の領域や活動は、家計や企業にとどまらず、国家や世界全体さらには温暖化問題をはじめとした地球規模までその領域を拡げ、AIやDXといった情報化の進展とも重なって発展しています。経済学部では、柔軟な思考能力を持ち変化に適応して新社会を築ける人材の育成を目指して、経済学、経営学というモノの見方、考え方を活用して新たな価値を生み出す能力を養成します。

私たち教員は経済学、経営学の魅力を皆さんと共有したいと強く思っています。あなたの夢を経済学部でかなえて下さい。

経済学部長 早川 達二

人間文化学部 「人間」とは「じんかん」であり「物語り」では？

人間文化学部は、人間文化学科、心理学科、メディア・映像学科の3つの学科で構成されています。学部としての教育理念は、人間の営みを深く理解し、豊かな教養と主体的に考え行動する力を育むことです。この理念は、人間や文化への関心を持ち続け、自らの生き方を見つめ直す姿勢を重視しているとも言えます。

人間という文字は「じんかん」とも読むことができ、その意味はまさに人と人との間、社会を意味しています。個人と社会、そして、その間に存在するのが「言葉」であり、言葉は「じんかん」の中でそれぞれの「物語り」が紡がれ「ナラティブ」「物語」へと展開していきます。3つの学科に共通するのは書物や個人、社会の「物語り」に着目している点ではないかと考えています。

大学生活での出会いや学びを通して、皆さん自身の新

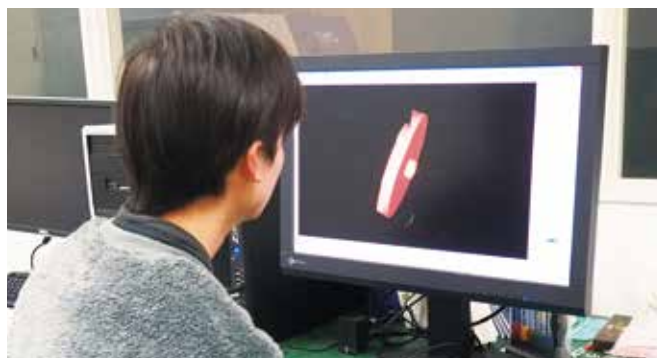
たな物語がどのように紡がれていくのか、大いに期待しています。

心理学科長 中島 学



工学部 目標を明確化して実りある学びを目指しましょう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生活にも慣れたでしょうか。工学部は4つの学科からなり3学科はコースも備えていて、それぞれの専門分野の基礎から応用まで深く学べます。工学部の教育目的冒頭に謳っ



ているように、幅広い教養と高度な工学専門知識・技術を習得し、実践的な技術者を育成することを目指しています。そのため、学科横断型授業みらい工学プロジェクトや資格取得教育等も充実させています。カリキュラムマップ等により教育体系をよく理解して、目標を明確化して実りある学びを目指して欲しいと思います。

工学部で学ぶことができる多くの技術は、日本の産業や製造業を支える基盤となっていて、これらを技術者達が継続的に発展させて、日本を現在のような豊かな国に導いてくれました。みなさんにも大学4年間の学びを通して、このような技術者を目指して欲しく、責任感と誇りをもって社会で活躍してもらうことを期待しています。

機械システム工学科長 木村 純壮

生命工学部 ワイン造りを通して学ぶ生命のつながり

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

生命工学部での学びは、教科書の中だけにとどまりません。私たちは、自然の中にある「いのち」の営みを、実際に見て、触れて、感じながら学んでいきます。

私の専門は「ワイン醸造学」です。ワインは、ブドウという植物が大地に根を張り、微生物が発酵を担い、人の手によって形づくられる、まさに生命の連鎖の結晶です。学生実習ではブドウ栽培や試験醸造を行い、それをイベントで学生とともにグラス販売を行うなど、実践的な学びを大切にしています。また、地元・山野峡大田ワイナリーさんと新しいワイン「さくら」を共同開発し、世界バラ会議のレセプションに提供するなど、地域ブランドの向上にも寄与しています。

生命工学とは、こうした「いのち」のつながりを科学的に理解し、社会に活かしていく学問です。ワインのように、時間をかけてじっくりと育まれる学びを、私たち

と一緒に楽しんでいきましょう。

生物科学科 吉崎 隆之



薬学部 将来自分が会える人のために学ぶ

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。6年間にわたる薬剤師養成教育課程のスタートをきったみなさんに、2つのことを伝えたいと思います。

○「頑張る」は「一人で問題を解決する」ではない

みなさんは、「頑張ろう!」と思っていますよね?ただ、「頑張る」は「一人で問題を解決する」ではありません。みなさんの周りには、同級生、先輩、教員などサポートしてくれる人がたくさんいます。困った時には「困ります!」と発信することを頑張ってみてください。

○自分のために学ぶのではなく、 将来会える患者さんのために学ぶ

どれだけたくさんの知識や技能を修得しても、それを人のために使わないと意味がありません。みなさんが修得する知識・技能・態度は地域の人や患者さんに使って

初めて意味を持ちます。みなさんが将来会える人を笑顔にできるよう、たくさんのことを学んでください。

みなさんの学生生活が楽しく充実したものになるよう、教員は全力でサポートします。

薬学部長補佐 田村 豊



聚志館(ものづくり工房)が完成します！

「2050年カーボンニュートラル」を目指す、国のグリーン成長戦略のもと、デジタル技術とサステナブル技術の両方に長け、幅広く活躍できる人材育成と地域との共創をコンセプトとして、聚志館は計画されました。

1年次からのデジタルものづくり教育として、分野横断型のものづくりプロジェクトを実施します。2-3年次では、地域の環境課題等を解決するプロジェクト型教育PBLが行わ

れ、4年次では地域企業とともに卒業研究としてデジタルサステナビリティ研究を行います。

また、広く地域に開かれ、実際の研究装置や成果、さらには芸術等を体感することのできる場となることを目指していきます。

工学部 建築学科 教授 梅國 章



●設計について

建物の1、2階を工学部全体の教育・研究棟としての位置づけとして設計し、1階には大型3Dプリンタ等のサステナブル研究の機器が設置されます。地下1階を16メートル四方の大空間を演出し、多目的ホールとしても活用出来るよう計画しています。

造形デザインの特徴としては、道路と敷地1階スペースとの4mの段差に対し、地下を設けることにより建物全体の機能性を高め、同時に建物本体の高さを抑え、自然に溶け込むと同時に容易なアプローチを実現しています。

構造的特徴としては、地下大空間を構成するために1階をワッフルコンクリートスラブとし、さらにプレストレスを導入することにより、大スパン構造を実現しています。

2階には外部通路を利用しアクセスする特徴的な平面計画を選択することにより、一旦外部に出て周囲の緑と新鮮な空気に触れ、集中力を高められるよう配慮しました。

また、地球環境に配慮した木製大型ルーバーとCLT部材を多用し、無機質な素材とのコントラストを演出しています。

工学部 建築学科 教授 河口 佳介



福山からダンスで世界へ！

小学校1年生でダンスを始めた時から所属している福山のスタジオレディバグのメンバーの一員として、「WORLD OF DANCE」日本予選を無事通過しました。その結果、今年7月、アメリカ・ロサンゼルスで開催される世界最高峰のダンス大会「WORLD OF DANCE」本選に出場することが決まりました。小さい頃から地元・福山でダンスを続けてきた私にとって、これは長年の夢が叶う大きな一歩です。練習や大会を重ね、仲間と共に高め合いながら、夢の舞台を目指して努力してきました。

また、国際経済学科では、バリ島研修、韓国・釜山研修、ニュージーランドトップ10プログラムといったさまざまな海外研修に参加しました。語学や異文化に触れ、価値観の異なる人たちと積極的にコミュニケーションをとる貴重な体験をしてきました。英語でのコミュニケーション力や積極性は、ダンスを通じて世界の人々とつながる上で大きな武器になると感じています。

今回の大会では、世界中のダンサーと戦うという貴重な経験をしっかりと噛み締め、自分のパフォーマンスで観客

の皆さんに感動とパワーを届けるとともに、福山という地方からでも世界へ挑戦することができるということを広めたいと思っています。そして、夢を追い続ける楽しさ、そして努力の大切さを、次の世代にも伝えられる存在になれるかな、と思っています。

国際経済学科 4年
新谷 美空



CyPat FUが内閣総理大臣賞を受賞しました！

福山大学サイバー防犯ボランティアCyPat FU（サイバットエフユー）は、広島県警サイバー犯罪対策課から委嘱を受け、心理学科所属の有志が日々精力的に活動を行っています。昨年10月にはその活動が認められ、令和6年安全安心なまちづくり関係功労者表彰として、内閣総理大臣賞を受賞しました。この受賞は、私たちが毎週コツコツとサイバーパトロールを続けていること、継続的に小中学校等でサイバー防犯教室を実施していること、高齢者の方々への

サイバー防犯講話の実績があること、防犯標語を用いたInstagram上の広報啓発活動を行っていること、警察や行政と連携し各種防犯イベントに積極的に参加していること、入れ替わりのある学生団体ながら活動要領や知識の継承にも力を入れ、継続可能な活動を行っていること等を高く評価していただいたものです。

受賞した団体の中で、唯一私たちがだけがサイバー防犯ボランティア団体でした。サイバー防犯ボランティア団体としての受賞は県内で初の快挙でもあり、首相官邸で行われた表彰式や広島県警察本部長への表敬訪問においても、多くの激励や労いのお言葉をいただきました。メンバー同心から嬉しく思うとともに、これからは「楽しく・正しく・安全に」、サイバー犯罪を少しでも減らすために、皆で邁進する所存です。

心理学科 准教授 大杉 朱美



DoboXデータチャレンジで学生賞を受賞しました！

2025年2月1日（土）に、広島県が主催する広島県インフラマネジメント基盤データ利活用コンテスト「DoboXデータチャレンジ」が開催され、本学建築学科の学生が作品を発表しました。DoboXデータチャレンジは、データ利活用の重要性・有用性を広く発信することや次世代を担うデジタル人材の育成等を目的に、インフラマネジメント基盤（DoboX）のデータを活用して、地域課題の解決に有効なアプリケーションやアイデアなどを募集し、優秀作品を選考するコンテストです。今回のコンテストでは、応募のあった22作品のうち12作品が最終審査に選ばれました。

建築学科では、3年生後期に「ゼミナール演習」という授業があり、備後圏の地域課題を解決する方策を研究室ごとに提案する課題があります。本研究室では防災をテーマに掲げ、広島県土木建築局建設DX担当の方とミーティングを行い、様々なデータを活用して広島県民の避難率を高めるための“防災道の駅”を計画しました。ゼミナール演習の発表会での指摘をもとにブラッシュアップした作品を、DoboXデータチャレンジに応募し、最終審査で発表することがで

きました。

最終審査では学生だけでなく一般の方も参加しており、様々な作品を見て刺激を受けることができました。学生賞をいただくことができ、今後の研究や設計のモチベーションにも繋がりました。

建築学科 講師 大畑 友紀



広島県とのミーティング



最終審査での発表の様子

カープ選手へアスリート向けランチを提供しました！



健康栄養科学科の3,4年次生が、福山市の「瀬戸内ローズフィールド」で、広島東洋カープのケムナ誠選手と高橋昂也選手、宮本健志トレーナーにアスリート向けランチを提供しました。この取り組みは、選手が自主トレーニングのため利用している「瀬戸内ローズフィールド」を運営する五洋医療器株式会社よりご依頼をいただきました。

ランチの内容は、トレーニングでの体づくりを支えるために、エネルギーをしっかりと摂取できて、高たんぱく質、高ビタミンの栄養バランスの良い献立とし、ご飯、汁物、主菜・副菜5品、デザートすべて学生が調理しました。主菜の牡蠣は、「亜鉛が不足しがちなので摂取したい」というケムナ誠選手のリクエストに、ぶり大根は、「魚が食べたい」という高橋昂也選手のリクエストに応じて提供しました。選手の皆さんからは、「美味しい」、「普段の食事への意識が高まった」と大変好評でした。学生にとっては、大学の授業で学んだ「スポーツ栄養学」の知識を活かし、とても貴重な経験となりました。

カープ選手を始めとするスポーツ選手への食事を通した交流は、今年度も継続する予定です。食・栄養の面から、地域・社会に貢献できるよう活動していきたいです。

健康栄養科学科 助手 山崎 真優

未来創造館から生まれた研究成果—薬学部学生4名が学会奨励賞に輝く

2024年10月、岡山市で開催された「第63回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会」において、福山大学薬学部の学生4名が学生発表奨励賞を受賞しました。受賞者と研究テーマは、以下のとおりです。

■要田恒希さん（博士課程1年）：ペルフルオロオクタン酸による乳がん細胞の遊走に関する研究／■山脇葵さん（6年生）：ピシフェリン酸による抗不安・抗ストレス効果に関する研究／■藤井惇一さん（6年生）：頭皮微生物に対する抗菌成分の相乗効果に関する研究／■辻颯真さん（5年生）：抗がん作用をもつDictyodendrin Bの合成研究

今回の受賞に際し、学長や薬学部長からも祝福の言葉が贈られました。これらの研究成果は、未来創造館（薬学部研究棟）のオープンラボエリアにおいて進められたものであり、学生たちのたゆまぬ努力の結晶です。今回の受賞は、今後の研究活動への大きな励みとなり、後輩たちにも引き継がれ、さらなる発展が期待されます。

薬学科 教授 松岡 浩史



図書館倶楽部の活動についてご紹介！

「図書館倶楽部」は、福山大学の学生が主体となって活動する図書館ボランティアグループです。学部や学年を問わず、本やボランティアに関心を持つ学生たちが集まり、図書館をより利用しやすく、親しみやすい場所にすることを目的に活動しています。



活動は、週に1回行われるミーティングを中心に行っています。ここでは、今後の活動方針を話し合ったり、展示やイベントの準備を行ったりしています。また、メンバーがそれぞれおすすめの本を紹介し合う時間もあり、読書の幅を広げるきっかけにもなっています。

「図書館倶楽部」が編集し、年に2回発行している「Library News」では、先生方が読んでいる本をインタビュー形式で紹介したり、図書館の利用案内を学生目線で掲載したりと、利用者にとって役立つ情報を提供しています。展示活動では「福山周辺が舞台の小説」など、地域や時事にちなんだテーマ展示を企画・実施しています。

さらに、2024年度は新たな取り組みとして、電子書籍や小説をおみくじ形式で紹介し、楽しみながら本と出会える「図書みくじ」を実施しました。

学外での活動にも積極的に取り組んでおり、公共図書館でのおはなし会では子どもたちに読み聞かせを行い、他大学とのイベントや交流会にも参加するなど、図書館を通じた地域や他校とのつながりも大切にしています。

第14回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを実施！

自然豊かな春のキャンパスの風景をテーマに、第14回「福山大学の桜」ミニフォトコンテストを開催しました。今年も新入生を含む多数の応募をいただきました。投票対象38作品についてセレッソ上で展示を行い、学生と教職員による投票審査により各賞受賞者が決定しました。

最優秀賞に選ばれた撮影者のコメントには、「普段何気なく通っているキャンパスの野鳥の可愛さを感じてほ

しいと思い撮った1枚です。これを見た貴方も、ぜひ鳥の囀りを聴き、上を見上げてみてください！」とありました。桜の花と小鳥のかわいらしさが際立つこちらの作品が、圧倒的な支持を得て最優秀賞受賞となりました。

投票には、「それぞれの写真に素晴らしい個性があり見ていて感動しました」など、様々なコメントが添えられていました。本コンテストを通じてキャンパスの魅力を再発見するととも

に、皆さんの心が和み、日常のささやかな喜びを共有できる場となれば幸いです。

応募及び投票に参加くださった皆さん、コンテスト開催にご尽力いただきました関係部署の皆さんに、心より感謝申し上げます。

学生委員長 鶴崎 健一



最優秀賞「つまみ食い」
生命工学部
海洋生物科学科 2年生
向坂 和士 さん



優秀賞「夕日に佇む桜道」
生命工学部
海洋生物科学科 3年生
中家 舞 さん



さくら賞「桜の下での涼み台」
人間文化学部
メディア・映像学科 1年生
林 朋美 さん



さくら賞「ハーモニー」
人間文化学部 人間文化学科
交換留学生
ATANASOVA ALEKSIA
VELISLAVOVA さん



さくら賞
「チェリーブロッサム&
シダーローズ」
薬学部 薬学科
道原 明宏 教授

令和7年度 福山大学学生表彰について

令和7年度「学生表彰」（学業成績優秀者）については、以下の39名が表彰されました。
おめでとうございます。

学務部 学生課

令和7（2025）年度 学生表彰 一覧表

学長賞【学業部門】

学 部	学 科	学 年	氏 名
経済学部	経済学科	2 年	永留 瑞月
経済学部	国際経済学科	2 年	吉村 厚嬉
経済学部	税務会計学科	2 年	田中 亜海
人間文化学部	人間文化学科	2 年	吉原 菜々子
人間文化学部	心理学科	2 年	宮原 永絆
人間文化学部	メディア・映像学科	2 年	久富木 圭佑
工学部	建築学科	2 年	東郷 八瑠
工学部	情報工学科	2 年	甲上 良政
生命工学部	生物科学科	2 年	黒川 萌花
生命工学部	健康栄養科学科	2 年	林 瑠里子
生命工学部	海洋生物科学科	2 年	佐々木 飛玄
薬学部	薬学科	2 年	堂前 日菜子
経済学部	経済学科	3 年	川本 陸
経済学部	国際経済学科	3 年	溝入 愛華
経済学部	税務会計学科	3 年	狩野 万由子
人間文化学部	人間文化学科	3 年	石原 未来
人間文化学部	心理学科	3 年	石井 史香
人間文化学部	メディア・映像学科	3 年	重森 湊太
工学部	機械システム工学科	3 年	佐伯 拓都
工学部	建築学科	3 年	金原 優花
工学部	情報工学科	3 年	延近 友仁

学 部	学 科	学 年	氏 名
生命工学部	生物科学科	3 年	錦織 大介
生命工学部	健康栄養科学科	3 年	内畠 早智
生命工学部	海洋生物科学科	3 年	重光 春菜
薬学部	薬学科	3 年	本田 くるみ
経済学部	経済学科	4 年	和田 優香
経済学部	国際経済学科	4 年	佐藤 翔太
経済学部	税務会計学科	4 年	石部 優来
人間文化学部	人間文化学科	4 年	曾我部 美佳
人間文化学部	心理学科	4 年	藤原 千鶴
人間文化学部	メディア・映像学科	4 年	角 遥名
工学部	電気電子工学科	4 年	西田 成夢
工学部	建築学科	4 年	下畑 颯斗
工学部	情報工学科	4 年	野村 佑哉
生命工学部	生物科学科	4 年	大下 真碩
生命工学部	健康栄養科学科	4 年	佐藤 夢花
生命工学部	海洋生物科学科	4 年	田代 梨乃
薬学部	薬学科	4 年	詩 大場
薬学部	薬学科	5 年	安井 愛友

研 究 活 動

2025年度 科学研究費助成事業

★研究種目

- 研究代表者氏名・所属・職名・(研究期間)
研究課題・(2025年度交付金額)

★学術変革領域研究A

- 重永 章 薬学部 教授 (2024年～2025年度)
ポリスルフィドミックスの拡張を可能とする新規タンパク質ラベル化試薬の創成 (190万円)

★基盤研究B

- 洞ヶ瀬真人 人間文化学部 准教授 (2022年～2025年度)
環境汚染と映像の詩学—公害に向き合った映像の記録と表現についての研究
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)

★基盤研究C

- 張 楓 経済学部 教授 (2022年～2025年度)
近現代日本における分散型生産組織の類型的把握：ラジコン模型航空機産業を事例に (50万円)
- 赤澤 淳子 人間文化学部 教授 (2024年～2027年度)
青年期の児童養護施設入所児童を対象とした性暴力予防プログラムの開発と効果検証 (90万円)
- 平 伸二 人間文化学部 教授 (2025年～2027年度)
隠匿情報検査における系列内変動のメカニズムの検討：随伴陰性変動による研究 (90万円)
- 安田 暁 人間文化学部 教授 (2025年～2028年度)
パースペクティブの再想像：レンズシステムの応用による写真・イメージ遠近法の再考 (100万円)
- 岩崎 真梨子 人間文化学部 准教授 (2022年～2026年度)
発達障害者のコミュニケーション支援システムの開発 (20万円)
- 松本 明生 人間文化学部 准教授 (2022年～2025年度)
相談利益に着目した学生相談への援助要請態度の向上を図る取り組みに関する研究
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- 寺田 和永 人間文化学部 准教授 (2025年～2027年度)
日本版PBSの導入と効果検討 (100万円)
- 金平 希 人間文化学部 講師 (2022年～2025年度)
母子の情緒交流支援をみすえた実証的アセスメント法の開発：発達障害児と母親への応用 (70万円)
- 佐藤 圭一 工学部 教授 (2020年～2025年度)
蘭草栽培を通じた備後表の生産・流通・設計・施工プロセスの解明
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- 池岡 宏 工学部 教授 (2024年～2026年度)
アオリ光学距離推定におけるBPF絞りの新たな開口形状の検討と用途別最適手法の確立 (150万円)
- 谷口 億宇 工学部 教授 (2022年～2025年度)
天体での核融合反応率の微視的原子核模型による評価 (70万円)
- 伊澤 康一 工学部 准教授 (2024年～2026年度)
ZEB実現のための自然エクセルギー利用暖冷房・換気システムの最適設計の検討 (50万円)
- 中東 潤 工学部 准教授 (2022年～2025年度)
水素新機能による生体・医療用チタン合金のナノ組織化と歯科補綴物への応用
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- 滑川 裕介 工学部 准教授 (2024年～2026年度)
格子量子色力学による高密度領域の開拓 (90万円)
- 森田 翔太 工学部 講師 (2025年～2027年度)
自己聴取音の主観的印象に関する研究 (130万円)
- 佐藤 淳 生命工学部 教授 (2022年～2026年度)
糞中DNAから哺乳類の食性を解明する基盤の確立 (70万円)
- 田中 憲司 生命工学部 教授 (2023年～2025年度)
瀬戸内海の藻場生態系を維持する流れ藻の役割 (120万円)
- 吉崎 隆之 生命工学部 准教授 (2022年～2025年度)
酵母による赤ワインの色調増強に関わる技術基盤の確立 (60万円)
- 真田 誠至 生命工学部 准教授 (2024年～2026年度)
水族館展示を活用した水界の視覚化と学習教材の開発 (90万円)
- 泉 貴人 生命工学部 講師 (2024年～2026年度)
日本産ニューストン性ヒドロ虫の系統地理—"帆"の有無は種分化まで左右するのか— (120万円)
- 山本 知里 生命工学部 講師 (2025年～2028年度)
イルカにおける対立に対処する"こころ"の検討 (60万円)
- 木平 孝高 薬学部 教授 (2023年～2025年度)
腎虚血再灌流におけるグルタチオン分解酵素を介したアポトーシス制御の役割 (120万円)

- ◎今 重之 薬学部 教授 (2023年～2025年度)
自己免疫疾患におけるトロンピン切断型ネフロネクチンと受容体との相互作用の機能解明 (90万円)
- ◎佐藤 雄己 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
神経内分泌ペプチドに着目したクロザピン副作用バイオマーカー開発と漢方治療への応用 (110万円)
- ◎重永 章 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
コンディショナルプロテオミクスの課題を克服するラジカル再結合型ラベル化試薬の創出 (110万円)
- ◎竹田 修三 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
脂肪酸アナログ有機フッ素化合物による乳がん悪性化の分子機構 (120万円)
- ◎松岡 浩史 薬学部 教授 (2024年～2026年度)
核内受容体の作動性リガンドの探索と動脈硬化治療への応用 (140万円)
- ◎道原 明宏 薬学部 教授 (2025年～2027年度)
コレステロール逆輸送系を促進させる動脈硬化抑制作用と新規治療薬への応用 (120万円)
- ◎大西 正俊 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
脳出血後のキヌレニン経路の変動と抑うつ発症の関連性 (130万円)
- ◎前原 昭次 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
COVID-19治療薬を目指した薬用植物エンドファイト培養エキスの抗SARS-CoV-2活性物質 (90万円)
- ◎渡邊 正知 薬学部 准教授 (2023年～2025年度)
虚血再灌流障害に対する低体温誘導SUMO化修飾を介した血液脳関門保護機構の解明 (80万円)
- ◎広瀬 雅一 薬学部 講師 (2025年～2027年度)
教育用電子薬歴の開発と薬学的管理能力の向上への応用 (210万円)
- ◎本田真知子 薬学部 助手 (2023年～2025年度)
非アルコール性脂肪肝疾患における細胞外基質ネフロネクチンとその翻訳後修飾の役割 (110万円)

★若手研究

- ◎田中 征史 経済学部 講師 (2024年～2026年度)
機械化が賃金格差と経済成長に及ぼす影響：労働供給面からのアプローチ (110万円)
- ◎戸村 貴史 経済学部 講師 (2025年～2027年度)
体育・保健において多文化共生を目指すCRTに 着目した教師教育プログラムの開発 (120万円)
- ◎中島 学 人間文化学部 教授 (2024年～2025年度)
立ち直り支援におけるソーシャルサポート体制構築に向けた実態調査 (90万円)
- ◎中野 美奈 人間文化学部 准教授 (2022年～2025年度)
長時間瞑想に頼らない職場のマインドフルネス・オンラインプログラム
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- ◎大杉 朱美 人間文化学部 准教授 (2021年～2025年度)
犯罪捜査のためのポリグラフ検査におけるアーチファクト検出システムの開発
<最終年度補助事業期間延長中> (0万円)
- ◎安藤 孟梓 人間文化学部 准教授 (2023年～2025年度)
性的少数者に対する認知行動的アプローチの効果検証 (60万円)
- ◎向井 智哉 人間文化学部 講師 (2025年～2027年度)
市民は刑事司法とどう関わるのか：刑事司法参加の実証的検討 (70万円)
- ◎上野 貴弘 工学部 助教 (2025年～2027年度)
メンタルヘルス症状を偏見なく自覚できる曖昧表現インターフェース (80万円)
- ◎石塚 真太郎 生命工学部 講師 (2022年～2025年度)
父系社会の中でメスはどのようにして集団間移籍するのか？—近親交配リスクの変異から探る (50万円)
- ◎喜屋武 龍二 薬学部 助教 (2024年～2025年度)
触媒的アミノ酸側鎖重水素化反応を起点とした重水素が形成する相互作用体系化への挑戦 (120万円)
- ◎番匠谷 研吾 薬学部 助教 (2024年～2026年度)
脳腫瘍における機能性高分子を利用した中性子捕捉療法のための新規ホウ素薬剤の開発 (120万円)

★研究活動スタート支援

- ◎両角 遼平 人間文化学部 講師 (2024年～2025年度)
ナショナル・アイデンティティを視点とした豪国社会系教科カリキュラム構成原理の分析 (100万円)
- ◎反田 智之 人間文化学部 講師 (2024年～2025年度)
意図的な注意と記憶の抑制的制御手法の確立 (60万円)
- ◎水師 葉月 人間文化学部 助手 (2024年～2025年度)
反応時間を指標とした隠匿情報検査の実現可能性の検討 (70万円)
- ◎大畑 友紀 工学部 講師 (2024年～2025年度)
社会的マイノリティの暮らしに配慮した都市・居住環境の必要性と評価指標に関する研究 (90万円)
- ◎井上 泰 大学教育センター 准教授 (2024年～2025年度)
日本近世前期における絵画の語りに関する研究—狩野山雪画『長恨歌画卷』を中心に (60万円)

学 内 人 事

【法人役員】

◎重任
理事長
常務理事（業務執行理事）
理事
理事
理事
理事
理事
理事
監事

鈴木 省三
尾崎 史郎
大塚 豊
富崎 彰夫
岡崎 憲人
鶴田 泰人
川久保 和雄
蘭頭 里美
山本 昭人
(以上5月28日付)

◎就任
監事

前原 幸三
(5月28日付)

◎任期満了

副理事長
副理事長
理事
理事
監事

尾崎 史郎
富士 彰夫
平 伸二
吉留 義史
光波 祥二郎
(以上5月28日付)

【教員】

◎名誉教授称号授与
前 経済学部 教授
前 人間文化学部 教授
前 工学部 教授
前 生命工学部 教授
前 生命工学部 教授
前 生命工学部 教授

平田 宏二
青木 美保
山之 上卓
山口 泰典
井ノ内 直良
有瀧 真人
(以上4月1日付)

◎就任（役職関係）

副学長
学長補佐
学長補佐
学長補佐
経済学部 学長
薬学部 学長
大学院経済学研究科 学長
大学院工学研究科 学長
大学院工学研究科生命工学系研究科 学長
経済学部 学長補佐
経済学部 経済学科 学長
経済学部 国際経済学科 学長
経済学部 税務会計学科 学長
人間文化学部 人間文化学科 学長
工学部 建築学科 学長
工学部 機械システム工学科 学長
薬学部 薬学科 学長（実務教育担当）
大学教育センター 学長
大学教育センター副センター 学長
社会連携センター 学長
国際センター副センター 学長
内海生物資源研究所附属マリンバイオセンター水族館 学長
保健管理センター 学長
教職課程委員会委員長（教職支援室長）
教職課程委員会副委員長
入試委員会委員長
入試委員会副委員長
ハラスメント対応委員会委員長
ダイバーシティ推進支援室 学長
松永駅前活性化プロジェクト委員会委員長

鶴田 泰人
仲嶋 一
佐藤 圭一
有賀 敏之
早川 達二
佐藤 英治
有賀 敏一
仲嶋 利明
伊丹 哲也
飯田 卓史
吉田 卓史
Bisset Ian James
張 楓
柳川 真由美
佐藤 圭一
木村 純壮
佐藤 雄己
鶴田 泰人
小野 太幹
都祭 弘幸
趙 建紅

太田 健吾
井上 敦子
今井 航
井上 泰丈
広岡 和司
金子 健文
井上 裕文
安藤 孟梓
鶴田 泰人
(以上4月1日付)

◎退任（役職関係）

学長補佐（研究、社会連携担当）
学長補佐（入試担当）
薬学部 学長

仲嶋 一
佐藤 圭一
井上 敦子

大学院経済学研究科 学長
経済学部 学長補佐
経済学部 経済学科 学長
経済学部 国際経済学科 学長
人間文化学部 人間文化学科 学長
工学部 機械システム工学科 学長
薬学部 薬学科 学長（実務教育担当）
国際センター副センター 学長
教職課程委員会委員長（教職支援室長）
教職課程委員会副委員長
入試委員会委員長
入試委員会副委員長
ハラスメント対応委員会委員長

野村 宗訓
早川 達三
佐藤 彰達
早川 達三
重迫 隆司
加藤 彦治
佐藤 昌英
許 昌
倉掛 裕
今井 航
佐藤 圭
山岡 一
山崎 丈
山崎 理
(以上3月31日付)

◎定年退職

経済学部 教授
工学部 教授
工学部 教授
工学部 准教授
生命工学部 教授
薬学部 教授

白木 康晴
都祭 弘幸
関上 卓一
関田 隆一
有瀧 真人
前田 頼伸
(以上3月31日付)

◎退職

経済学部 教授
経済学部 教授
経済学部 講師
人間文化学部 准教授
工学部 准教授
工学部 准教授
工学部 講師
生命工学部 講師
薬学部 講師

楠田 昭二
荒木 利雄
北村 友宏
枝廣 和憲
佐々木 伸子
中村 格芳
山本 貴子
山田 直貴
高山 健人
(以上3月31日付)

薬学部 助教

喜屋武 龍二
(6月30日付)

◎任期満了

経済学部 教授
生命工学部 准教授
生命工学部 助教
大学教育センター 助教

平田 宏二
西 彰子
中崎 千尋
Driussi Cordelia
(以上3月31日付)

◎再雇用期間満了

人間文化学部 教授
生命工学部 教授
生命工学部 教授

青木 美保
山口 泰典
井ノ内 直良
(以上3月31日付)

◎昇任

人間文化学部 教授
人間文化学部 教授
薬学部 教授
薬学部 講師
大学教育センター 教授
大学教育センター 准教授

原 千史
清水 洋子
松岡 浩史
半田 由佳
小野 太幹
前田 吉広
(以上4月1日付)

◎兼任

大学教育センター 教授
大学教育センター 講師
内海生物資源研究所 教授
安全安心防災教育センター 教授
安全安心防災教育センター 教授
安全安心防災教育センター 准教授
グリーンサイエンス研究センター 教授
グリーンサイエンス研究センター 准教授
グリーンサイエンス研究センター 講師
グリーンサイエンス研究センター 講師
グリーンサイエンス研究センター 助教
備後圏域経済・文化研究センター 教授

松岡 浩史
林 緑子
片山 貴弘
都祭 幸宏
池岡 聡
田中 浩史
松岡 正俊
大西 知由
山本 佳
半田 研
番匠 吾
清水 洋子
(以上4月1日付)

◎免兼任

大学教育センター 教授	安田 暁
大学教育センター 教授	倉掛 昌裕
大学教育センター 准教授	松岡 浩史
安全安心防災教育研究センター 教授	香川 直己
グリーンサイエンス研究センター 教授	田 修三
グリーンサイエンス研究センター 教授	泰 季之
グリーンサイエンス研究センター 教授	井上 裕文
備後圏域経済・文化研究センター 准教授	清水 洋子

(以上 3 月 31 日付)

◎採用

経済学部 教授	白木 康晴
経済学部 教授	善野 吉博
経済学部 教授	原岡 和生
経済学部 准教授	林田 元就
経済学部 講師	勝田 篤
経済学部 講師	鈴木 伸
経済学部 助教	堀木 彰
人間文化学部 教授	中嶋 健明
人間文化学部 准教授	久保田 テツ
人間文化学部 准教授	安藤 孟梓
人間文化学部 講師	林 緑子
人間文化学部 講師	奥村 尚大
工学部 教授	西尾 弘幸
工学部 教授	都祭 寿夫
工学部 教授	田中 美和
工学部 教授	島田 敬広
工学部 准教授	山下 裕介
工学部 准教授	滑川 士
生命工学部 教授	片津 哲士
生命工学部 教授	津吉 好規
生命工学部 教授	内海 佳津
生命工学部 准教授	松井 純子
生命工学部 准教授	吉田 晶子
生命工学部 講師	森川 佳
生命工学部 助教	森池 泰人
薬学部 教授	鶴田 啓輔
薬学部 講師	松岡 嘉晃
大学教育センター 講師	佐藤 嘉晃
大学教育センター 助教	Suzuki Heather Anne

(以上 4 月 1 日付)

◎客員教授

経済学部	田中 秀征
経済学部	平山 亮
工学部	長岡 正芳
薬学部	菅 奈美
大学院工学研究科	西田 友是

(以上 4 月 1 日付)

◎特任教授

生命工学部	原口 博行
-------	-------

(4 月 1 日付)

◎特命講師

大学教育センター	向井 勝也
----------	-------

(4 月 1 日付)

【職員】

◎退職

経理部経理 2 課係長	川口 由衣
-------------	-------

(3 月 31 日付)

◎昇任

施設部長	矢野 幸一
(兼) 学校法人福山大学施設部長	
秘書室長	山平 有樹
(兼) 学校法人福山大学秘書室室長補佐	
秘書室係長	富久 翔
(兼) 学校法人福山大学秘書室係長	
学務部学生課係長	岡野 浩己
総務部庶務課主任	佐藤 枝理
施設部主任	見立 陸
(兼) 学校法人福山大学施設部主任	

(以上 4 月 1 日付)

◎配置換

学校法人福山大学社会連携推進センター事務室長	峠根 周治
学務部国際交流課長	坪根 栄俊
(兼) 学校法人福山大学秘書室長	
秘書室事務統括参事	麓 勉
(兼) 学校法人福山大学事務統括参事	
薬学部事務室参事	武田 康成
経理部経理 2 課係長	喜多村 佑佳
(兼) 経理部経理 1 課係長	
経済学部・人間文化学部事務室事務職員	金只 成世
附属図書館事務職員 (司書)	田邊 詩歩
保健管理センター技術職員 (看護師)	佐藤 利恵子

(以上 4 月 1 日付)

◎兼務

学校法人福山大学総務部長	徳永 充孝
学校法人福山大学広報部長	高橋 和敬
学校法人福山大学財務部副部長	林 孝彦
学校法人福山大学総務部総務課長	佐久間 基潤
学校法人福山大学総務部企画渉外課長	岡田 友数
学校法人福山大学財務部財務課長	片山 高士
経理部付技能主任 (環境整備担当)	村上

(以上 4 月 1 日付)

◎免兼務

学校法人福山大学総務部長	藺頭 里美
学校法人福山大学施設部長	
学校法人福山大学事務局次長	麓 勉
学校法人福山大学秘書室長	坪根 栄俊
学校法人福山大学秘書室室長補佐	
学務部国際交流課長	山平 有樹
学校法人福山大学秘書室秘書係長	徳永 充孝
学校法人福山大学総務部副部長	
学校法人福山大学財務部副部長	林 孝彦
学校法人福山大学財務部財務課長	片山 友数
学校法人福山大学財務部経理担当	矢野 幸陸
学校法人福山大学施設部副部長	見立
学校法人福山大学施設部技術職員	

(以上 3 月 31 日付)

◎採用

学校法人福山大学参与	岡崎 文憲
(兼) 参事	
学校法人福山大学特別参事	平山 亮
学校法人福山大学特別参事	藤野 肇
学務部副部長	山成 光俊
入試広報室統括参事	和田 照文
(兼) 学校法人福山大学入試広報室統括参事	
入試広報室参事	増井 誠徳
(兼) 学校法人福山大学入試広報室参事	
入試広報室参事	児玉 英史
(兼) 学校法人福山大学入試広報室参事	
入試広報室参事	安原 宏成
(兼) 学校法人福山大学入試広報室参事	
入試広報室参事	岩成 智和
(兼) 学校法人福山大学入試広報室参事	
総務部庶務課主任	吉田 明菜
(兼) 広報部主任	
経済学部・人間文化学部事務室事務職員	青木 祐磨
内海生物資源研究所技術職員	得能 穰

(以上 4 月 1 日付)

◎学校法人福山大学社会連携推進センター長 山口 昌宏
(4 月 1 日付)

◎学校法人福山大学社会連携推進センター顧問
光波 祥二郎
(6 月 1 日付)

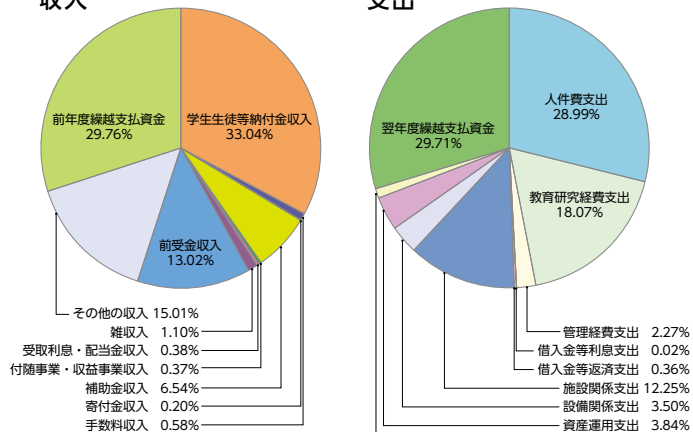
令和6年度 学校法人福山大学財務状況

資金収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)(単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	5,045,163,300	人件費支出	3,892,381,806
手数料収入	88,123,267	教育研究経費支出	2,426,817,168
寄付金収入	31,166,226	管理経費支出	304,814,711
補助金収入	998,640,284	借入金等利息支出	2,926,265
資産売却収入	0	借入金等返済支出	47,760,000
付随事業・収益事業収入	56,984,298	施設関係支出	1,644,024,400
受取利息・配当金収入	58,177,302	設備関係支出	469,211,579
雑収入	167,405,776	資産運用支出	9,043,851,587
借入金等収入	0	その他の支出	2,618,376,789
前受金収入	1,988,436,200	資金支出調整勘定	△ 229,756,998
その他の収入	13,306,253,690		
資金収入調整勘定	△ 2,076,549,187	翌年度繰越支払資金	3,988,252,633
前年度繰越支払資金	4,544,858,784	支出の部合計	24,208,659,940
収入の部合計	24,208,659,940		

収入



上記のグラフは次のとおり調整しています。

- ① 資金収入・資金支出調整勘定を除外
- ② その他の収入・資産運用支出・その他の支出のうち、資産運用・預り金・仮払金に係るものは収入と支出を相殺

資金収支計算書

資金収支計算書は、企業会計におけるキャッシュ・フロー計算書に近いもので、学校法人が教育研究その他の諸活動を行うことにより生ずるすべての資金収支の内容を示しています。学校法人の資金収支計算書では、前受金、未収入金、未払金、前払金を加えたもので、個々の収入金額、支出金額は必ずしも企業会計におけるキャッシュ・フローとなっていないませんが、別途「資金収入調整勘定」と「資金支出調整勘定」を設けて、これら前受金等を調整することになり、総額としてはキャッシュ・フローを示しています。

科目の説明	
収入の部	
学生生徒等納付金収入	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料収入	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金収入	金銭及びその他の資産を寄贈者から贈与された収入
補助金収入	国または地方公共団体から交付される補助金収入
資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却による収入
付随事業・収益事業収入	補助活動、附属事業、受託事業および収益事業による収入
受取利息・配当金収入	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
借入金等収入	返済期限が貸借対照日後1年を超えて到来する長期借入金と1年以内の短期借入金及び学校債の発行による収入
前受金収入	翌会計年度以後の諸活動に対応する収入を当該会計年度において資金収入したものの
その他の収入	上記以外の収入で、各種特定資産の取崩収入及び預り金等の収入
資金収入調整勘定	当年度の諸活動に対応する収入ですが、資金の収入が当年度中に行われず、前年度以前または翌年度以降となる項目を調整する勘定科目
支出の部	
人件費支出	教職員人件費、役員報酬、退職金に係る支出
教育研究経費支出	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出
管理経費支出	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出
借入金等利息支出	借入金及び学校債に係る利息支出
借入金等返済支出	借入金及び学校債に係る返済支出
施設関係支出	土地、建物、構築物等の固定資産の取得に係る支出
設備関係支出	機器備品、図書、車両等の取得に係る支出
資産運用支出	各種特定資産への繰入支出、有価証券の取得に係る支出
その他の支出	上記以外の支出で、前払金、仮払金に係る支出
資金支出調整勘定	当年度の諸活動に対する支出であるが、実際の資金の支出が前年度以前にあったものまたは、翌年度以降になるもの

事業活動収支計算書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)(単位：円)

科目	金額
教育活動収支	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	5,045,163,300
手数料	88,123,267
寄付金	31,166,226
経常費等補助金	967,713,284
付随事業収入	56,984,298
雑収入	167,425,097
教育活動収入計	6,356,575,472
事業活動支出の部	
人件費	3,908,038,017
教育研究経費	3,398,067,975
管理経費	358,101,030
徴収不能額等	0
教育活動支出計	7,664,207,022
教育活動収支差額	△ 1,307,631,550
教育活動外収支	
事業活動収入の部	
受取利息・配当金	62,489,371
その他の教育活動外収入	0
教育活動外収入計	62,489,371
事業活動支出の部	
借入金等利息	2,926,265
その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	2,926,265
教育活動外収支差額	59,563,106
経常収支差額	△ 1,248,068,444
特別収支	
事業活動収入の部	
資産売却差額	0
その他の特別収入	34,374,219
特別収入計	34,374,219
事業活動支出の部	
資産処分差額	42,598,269
その他の特別支出	0
特別支出計	42,598,269
特別収支差額	△ 8,224,050
基本金組入前当年度収支差額	△ 1,256,292,494
基本金組入額合計	△ 845,069,393
当年度収支差額	△ 2,101,361,887
前年度繰越収支差額	2,212,560,230
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	111,198,343
(参考)	
事業活動収入計	6,453,439,062
事業活動支出計	7,709,731,556

事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は、毎会計年度の3つの活動(教育活動、教育活動以外の経常的な活動、それ以外の活動)に対応する事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金に組み入れる額を控除した会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入と事業活動支出の均衡の状態を明らかにするためのものです。

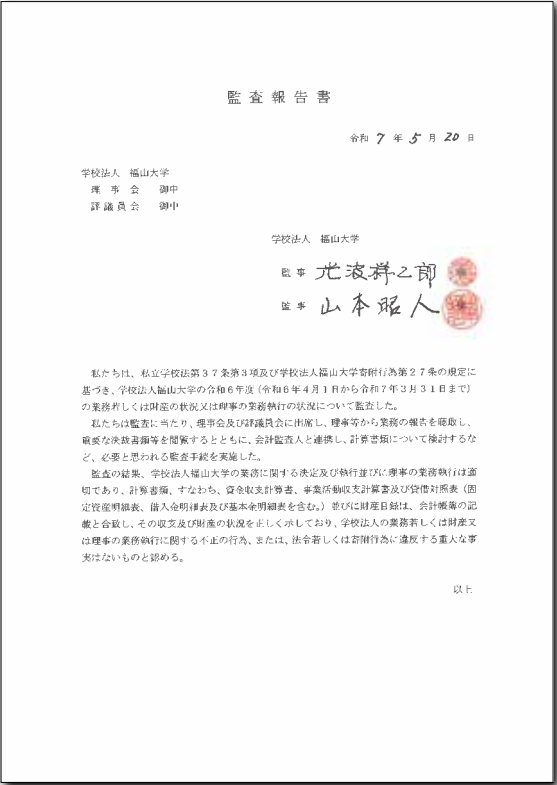
科目の説明	
事業活動収入の部	
学生生徒等納付金	授業料、入学金、実験実習料等の収入
手数料	入学検定料、休学者在籍料、各種証明書の発行手数料等の収入
寄付金	資金収支の寄付金収入に現物寄付を加えた額(施設設備に係る寄付は除く)
経常費等補助金	国や地方公共団体から交付される補助金収入(施設設備に係る補助金は除く)
付随事業収入	補助活動、附属事業、受託事業による収入
雑収入	上記以外の収入で学校法人の負債とならない収入
受取利息・配当金	預金、有価証券等の利息や配当金による収入
その他の教育活動外収入	収益事業等からの収入
資産売却差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を超えた場合の超過額
その他の特別収入	施設設備に係る寄付金、補助金及び過年度修正額による収入
事業活動支出の部	
人件費	教職員人件費、役員報酬、退職金に退職給付引当金繰入額を加えたもの
教育研究経費	教育研究活動に要する経費で、消耗品費、光熱水費、旅費交通費、奨学費、通信費、印刷製本費等の支出に減価償却額を加えたもの
管理経費	教育研究活動以外の経費で、管理運営、学生募集等に要する支出に減価償却額を加えたもの
徴収不能額等	前年度以前に計上した未収入金等で、当年度において回収不能と判断した額
借入金等利息	借入金及び学校債の利息に係る支出
その他の教育活動外支出	為替差損等に係る支出
資産処分差額	資産売却収入が当該資産の帳簿価額を下回った場合の差額及び資産を除却した場合の除却損
その他の特別支出	災害損失及び過年度修正額に係る支出
その他の項目	
基本金組入前当年度収支差額	当年度における教育活動収支、教育活動外収支、特別収支の全ての収入と支出の差額
基本金組入額合計	第1号基本金から第4号基本金の当年度組入額
当年度収支差額	基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除した当年度の収支差額
前年度繰越収支差額	前年度までの累積収支差額
基本金取崩額	基本金を取り崩した場合の額
翌年度繰越収支差額	前年度繰越収支差額に当年度収支差額と基本金取崩額を加えた額で翌年度に繰り越す収支差額
事業活動収入計	当年度の事業活動収入の合計
事業活動支出計	当年度の事業活動支出の合計

貸借対照表		(令和7年3月31日) (単位：円)	
資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	55,588,815,800	固定負債	1,860,391,555
有形固定資産	31,842,306,520	長期借入金	72,750,000
土地	6,905,160,619	退職給与引当金	1,642,027,552
建物	16,428,119,006	長期未払金	145,614,003
構築物	754,848,582	流動負債	2,279,661,369
教育研究用機器備品	2,400,240,092	短期借入金	47,760,000
管理用機器備品	24,318,873	未払金	111,750,918
図書	4,965,672,662	前受金	1,988,436,200
車両	1,148,775	預り金	131,714,251
船舶	7,116,911	負債の部合計	4,140,052,924
建設仮勘定	355,681,000		
特定資産	23,709,923,584	純資産の部	
第2号基本金引当特定資産	500,000,000	科目	金額
退職給与引当特定資産	1,642,027,552	基本金	56,090,290,198
減価償却引当特定資産	14,706,671,791	第1号基本金	55,102,290,198
校舎建設等引当特定資産	3,425,757,976	第2号基本金	500,000,000
創設準備引当特定資産	3,435,466,265	第4号基本金	488,000,000
その他の固定資産	36,585,696	繰越収支差額	111,198,343
電話加入権	3,048,426	翌年度繰越収支差額	111,198,343
施設利用権	600	純資産の部合計	56,201,488,541
保証金	33,316,670		
敷金	220,000	負債及び純資産の部合計	60,341,541,465
流動資産	4,752,725,665		
現金預金	3,988,252,633		
未収入金	143,907,767		
有価証券	581,368,855		
前払金	38,990,824		
仮払金	205,586		
資産の部合計	60,341,541,465		

貸借対照表は、年度末における資産、負債、純資産(基本金、繰越収支差額)の状況を示すものです。資金収支計算書と事業活動収支計算書が半年度の収支を示すのに対して、貸借対照表はこれまでの財務状況の積み重ねを示しています。

資産の部	
固定資産	次の有形固定資産、特定資産、その他の固定資産の合計
有形固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する有形の資産で、土地、建物、教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両等
特定資産	基本金引当特定資産及び各種引当特定資産
その他の固定資産	電話加入権、施設利用権、有価証券等
流動資産	現金預金、未収入金、貯蔵品等
負債の部	
固定負債	長期借入金、退職給与引当金、長期未払金等
流動負債	短期借入金、未払金、前受金、預り金等
純資産の部	
基本金	学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために組み入れた金額で、第1号基本金から第4号基本金があります
第1号基本金	教育活動を行うために取得した固定資産の価額
第2号基本金	将来取得する固定資産の取得に充てる金銭及びその他の資産の額
第3号基本金	奨学金等の基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭及びその他の資産の額
第4号基本金	恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額
繰越収支差額	累積の収支状況を示しており、事業活動収支計算書の翌年度繰越収支差額と一致します

財産目録		(令和7年3月31日) (単位：円)	
一 資産額		1,842,306,520	
1. 基本財産			31,842,306,520
土地	339,096 m ²		6,905,160,619
建物	154,918 m ²		16,428,119,006
構築物			754,848,582
教育研究用機器備品	4,204 点		2,400,240,092
管理用機器備品	142 点		24,318,873
図書	459,366冊		4,965,672,662
車両	31 台		1,148,775
船舶	2 艇		7,116,911
建設仮勘定			355,681,000
2. 運用財産			28,499,234,945
現金預金			3,988,252,633
第2号基本金引当特定資産			500,000,000
退職給与引当特定資産			1,642,027,552
減価償却引当特定資産			14,706,671,791
校舎建設等引当特定資産			3,425,757,976
創設準備引当特定資産			3,435,466,265
電話加入権			3,048,426
施設利用権			600
保証金			33,316,670
敷金			220,000
未収入金			143,907,767
有価証券			581,368,855
前払金			38,990,824
仮払金			205,586
資産総額			60,341,541,465
二 負債額		1,860,391,555	
1. 固定負債			1,860,391,555
長期借入金			72,750,000
退職給与引当金			1,642,027,552
長期未払金			145,614,003
2. 流動負債			2,279,661,369
短期借入金			47,760,000
未払金			111,750,918
前受金			1,988,436,200
預り金			131,714,251
負債総額			4,140,052,924
正味財産(資産総額－負債総額)		56,201,488,541	



五郎丸毅先生の ご逝去を悼んで



名誉教授の五郎丸 毅先生が、令和7年7月8日に85歳でご逝去されました。

先生は、九州大学薬学部をご卒業後、同大学助手、東京薬科大学講師、徳島大学薬学部助教授を歴任されました。

福山大学薬学部へは昭和60年12月に着任され放射化学研究室が開設されました。また、放射線施設であるRIセンター安全管理責任者およびRIセンター長に就任し、放射線教育・研究の基礎を築かれました。さらに、大学院薬学研究科長および薬学部長を歴任し、薬学部の発展にも多大な御尽力を賜りました。

先生の温厚篤実なお人柄により多くの学生に慕われておられたお姿を思い出しつつ、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

薬学科 准教授 本屋敷 敏雄



2007年の研究室の忘年会（先生のご自宅にて）

澁谷博孝先生の ご逝去を悼んで



福山大学薬学部名誉教授の澁谷博孝先生が、令和6年10月にご逝去されました。享年76歳でした。澁谷先生は、大阪大学で薬学博士号を取得され、その後、平成4年から福山大学薬学部で長年にわたり教授として天然物化学、生薬を担当し、ご活躍されました。また、多くの留学生を研究生、大学院生として研究室に迎え入れ本学の国際化にご尽力されました。特にインドネシアの天然薬物の調査と化学的研究において多大な貢献をされ、多くの研究成果を発表されました。澁谷先生からいただいたたくさんの厳しくも暖かいお言葉は、今でも心に響き続けています。



ご遺族の皆様にご心よりお悔やみ申し上げますとともに、澁谷先生のご冥福をお祈りいたします。

薬学科 准教授 前原 昭次

令和8（2026）年度 入学者選抜の概要

令和8（2026）年度入学者選抜の日程は次のとおりです。
その他、指定校推薦型選抜を実施しています。

◆入学者選抜日程

種別	出願期間	試験日	合格発表日
総合型選抜(一般) 第Ⅰ期	(エントリーシート提出期間) 令和7(2025)年 8月 8日(金)～ 8月25日(月) (必着)	令和7(2025)年10月21日(火)	令和7(2025)年11月 1日(土)
総合型選抜(一般) 第Ⅱ期	(エントリーシート提出期間) 令和7(2025)年 9月22日(月)～10月 6日(月) (必着)	令和7(2025)年11月26日(水)	令和7(2025)年12月 1日(月)
公募推薦型選抜 A日程 《試験日自由選択制》	令和7(2025)年11月 1日(土)～11月11日(火) (消印有効)	令和7(2025)年11月18日(火) 令和7(2025)年11月19日(水)	令和7(2025)年12月 1日(月)
公募推薦型選抜 B日程	令和7(2025)年12月 2日(火)～12月 9日(火) (消印有効)	令和7(2025)年12月13日(土)	令和7(2025)年12月17日(水)
一般選抜 前期 A日程 《試験日自由選択制》	令和8(2026)年 1月 5日(月)～ 1月24日(土) (消印有効)	令和8(2026)年 1月31日(土) 令和8(2026)年 2月 1日(日) 令和8(2026)年 2月 2日(月) 令和8(2026)年 2月 3日(火)	令和8(2026)年 2月 7日(土)
一般選抜 前期 B日程	令和8(2026)年 2月 4日(水)～ 2月16日(月) (消印有効)	令和8(2026)年 2月20日(金)	令和8(2026)年 2月26日(木)
一般選抜 後期 日程	令和8(2026)年 2月24日(火)～ 3月 3日(火) (消印有効)	令和8(2026)年 3月 7日(土)	令和8(2026)年 3月11日(水)
大学入学共通テスト 利用選抜 前期	令和8(2026)年 1月 5日(月)～ 1月24日(土) (消印有効)	個別学力試験は課しません	学生募集要項をご確認ください
大学入学共通テスト 利用選抜 後期	令和8(2026)年 2月24日(火)～ 3月 3日(火) (消印有効)	個別学力試験は課しません	令和8(2026)年 3月11日(水)

※《試験日自由選択制》とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。
志願者は、同一学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

◇入学金減免制度について◇

福山大学及び福山平成大学の同窓生の子女及び兄弟姉妹並びに在学生の兄弟姉妹及び子女に対して、就学時の経済的支援のため、入学金を一部減免する制度を実施しています。（留学生は除きます。）

◇入学検定料、入学金及び授業料に関する支援措置について◇

本学では、地震・豪雨等により災害救助法が適用された地域において被災された方に対して、申請に基づき、公募推薦型選抜・一般選抜の受験生に対する入学検定料、入学金及び授業料に関する特別措置を行っております。

詳しくは、入試広報室にお問い合わせください。（TEL：084-936-0521，e-mail：kouhou@fukuyama-u.ac.jp）